

3類型	鋳工業品	通巻番号	5-30-003
地域資源名	西陣金襴、西陣織	認定日	平成30年10月12日
地域	京都府京都市	所管省庁	経済産業省

事業名：西陣の金襴織物の技術を活用したアパレル・インテリア業界向け生地 の開発・生産・販売

会社名：加地金襴株式会社(6130001004519) 所在地：京都府京都市上京区大宮通り西裏芦山寺
 連絡先：TEL：075-366-6126 上る二丁目豎社南半町225番地
 FAX：075-366-6127 HP：<https://kajikinran.com/>

事業概要(地域産業資源の活用)

地域産業資源である「西陣金襴」と「西陣織」の製造技術を活かして、アパレル・インテリア用の生地を開発、生産、販売する。当社がこれまで培ってきた金糸・銀糸を使った金襴模様を基本とし、イタリアのデザイン会社やデザイナーの協力を得て、洋風のデザインを取り入れ、当社が有する1,000種以上の金襴柄も洋装にマッチするものは活用して開発する。これまで、当社は寺院向けの法衣や装飾品ということで、硬くて重く分厚い商品を製造してきたが、本事業においては、柔らかくて軽く薄い生地を実現する。

新たな需要の開拓の見通し(市場性、販路、商品の特性)

◆市場性

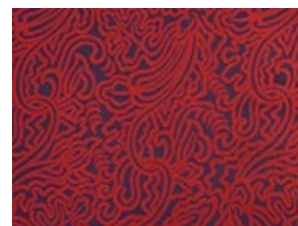
アパレルやインテリア生地では、柔らかい生地が求められ、日本の要素を残しつつ欧米のデザイン要素を加えたものに人気がある。素材についてはシルクやコットン、リネンなどの天然素材が人気で、紗等の生地は希少性が評価されている。アパレルやインテリアの関係事業者は、常に新しい生地を探し求めており、本事業の新製品に市場性はあると見込まれる。

◆需要の開拓の方針

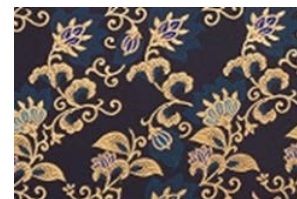
当社は格式高い生地展示会であるプルミエールビジョン・メゾンデクセプション(パリ)への出展を目指し、他の国内外の展示会にも出展して需要先を開拓する。また、協力者や共同開発者から顧客紹介を得、海外はイタリア/ミラノの代理店を通じて販路開拓を行う。

◆商品の特性

本事業の製品は、海外製品に比べて立体感に優れ、国内の西陣織と比べても極めて細い糸を使用して緻密な柄表現や配色等の細かさで差別化を図っている。金糸銀糸を使っても柔らかくて薄くて軽い生地に仕上げ、日欧文化の融合をデザインコンセプトにして、独特な生地を実現している。



【アパレル用生地①】



【アパレル用生地②】



【インテリア用生地】

地域を挙げた取組と協力者・関係事業者等との連携

本事業では、地域の材料供給者や染色業者、防災加工業者等との連携体制を構築する。協力者としては、モリト(株)やテキスタイルデザイナーの河東梨香氏が参画し、共同開発者として、東洋紡(株)や倉敷紡績(株)との連携も行っている。